

(別記)

令和２年度島牧村地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、全水田面積に占める主食用米面積の割合が約８０％で、転作作物はそばと飼料用米がそのほとんどを占めている。全国的には主食用米の需要が減少しているが、当該地域は生産・流通もわずかで、当面需要を充たしていることから、水田面積の維持を図っていくものとする。

しかしながら、本村農業は小規模であり農業所得が低い等が原因により、後継者不足の他、作付者の高齢化が進み離農者が出てくるなど、労働力不足が課題となっている。

2 作物ごとの取組方針等

地域内にある約３１haの水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大をはかることとする。

(１) 主食用米

売れる米作りを徹底するとともに前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案し米の生産を行う。また、中食、外食のニーズに対し業務用米の生産と安定取引の推進を図る。

(２) 非主食用米

ア 飼料用米

主食用米の需要減少が見込まれる中、地域の水稲作付面積の維持・確保のため、水稲転作の中心作物として位置づける。多収性や耐病性の高い品種の導入等による生産の安定化・効率化を推進し、生産の維持を図ることとする。

(３) そば

地域の需要者との契約に基づき、現行の栽培面積を維持する。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	19.2	19.2	20.0
飼料用米	2.3	2.3	3.3
そば	0.9	1.2	1.4

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	飼料用米	飼料用米作付助成	作付面積	（元年度）2.35ha	（2年度）3.3ha
			取組面積	（元年度）0.98ha	（2年度）1.2ha
			単収	（元年度）623kg/10a	（2年度）592kg/10a
2	そば	そば作付助成	作付面積	（元年度）0.9ha	（2年度）1.4ha

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内としてください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり